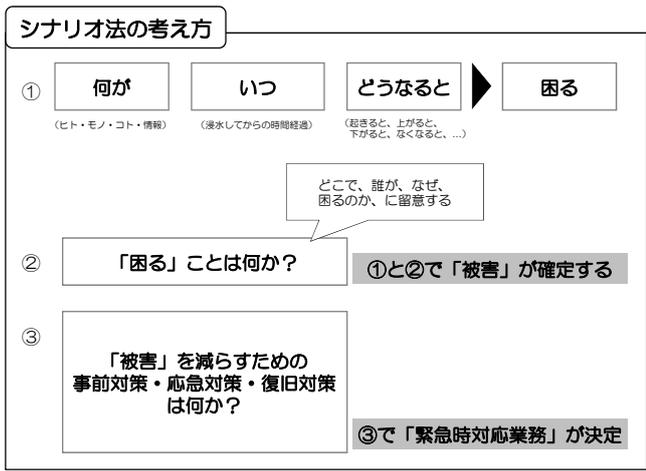


事例 シナリオ法の考え方を活用したWSの進め方



例

何が	いつ	どうなると	困る
パソコンが	3hr	浸水する	重要データの減失、破損

「困る」こと	事前対策	緊急時対応業務	
		応急対策	復旧対策
重要データの減失、破損	<ul style="list-style-type: none"> 想定浸水深より高い位置に保管する バックアップ 	<ul style="list-style-type: none"> 建物の浸水が始まるまでに高い位置に持っていく (外部流失の危険がある場合は) データ消去 	<ul style="list-style-type: none"> 減失、破損したデータの復旧 (外部流失した場合は) 顧客等への対応

‘ふせん’の色分けについて

ヒト	モノ	コト	情報
ピンク	緑色	黄色	水色

浸水開始日時は、平成〇〇年 7月2日(木) 10:00とします。上の佐賀平野浸水想定図(洪水・高潮)や水害リスクマップを参考に、4色の‘ふせん’を活用しながら緊急時対応業務を抽出してください。

何が (ヒト・モノ・コト・情報)	いつ (浸水してから時間)	どうなると (起きると、上がると、下がると、無くなると...)	困る (「困る」ことは何か?)	事前対策	緊急時対応業務	
					応急対策	復旧対策
材料が	6hr以内	入手できない	生産活動が止まる 顧客からクレーム	浸水しない道路の選定 顧客との事前協定 テレビラジオの準備 情報入手経路の確認	関係機関との連絡調整 代替拠点での生産	(状況に応じて) 謝罪対応 拠点移動
	12hr					
	24hr					
	48hr					
	72hr					